

県政報告

はしぐち海平

自由民主党

〒862-0941 熊本市中央区出水7丁目56-25
TEL.096-370-5571 FAX.096-370-5675
Email/info@h-kaihei.com
URL/http://www.h-kaihei.com
発行者/熊本県議会議員 橋口海平

皆さん、こんにちは。橋口海平です。皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年はラグビーワールドカップ2015イングランド大会において日本代表の活躍により、日本中が熱くなりました。特に9月19日に行われた初戦で日本 VS 南アフリカの試合で勝利した瞬間は、本当に感動し胸が熱くなりました。私もラグビーに携わっている者としてとても嬉しく、今後の日本代表の活躍を期待し、しっかりと応援していきたいと思いました。2019年に行われるラグビーワールドカップ日本大会の試合会場の一つに熊本が選ばれましたが、その2019年に向けて私もイングランド大会を視察してまいりました。視察ではスタジアムや応援スペース、また大会の在り方等を勉強させていただきました。2019年には女子ハンドボール世界選手権大会も行われます。大きな世界大会をしっかりと盛り上げていきたいと思えます。

また今年、3月には県知事選挙と7月には参議院選挙が控えております。どちらも熊本の未来にとって非常に重要な選挙です。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

熊本県議会議員 **はしぐち海平**



「熊本のよき流れを止めない」ために!!

私は知事就任以来2期8年にわたり県政運営に全力で取り組んできました。その中で、就任当初、県政が抱えていた3つの困難、「財政再建」「川辺川ダム問題」「水俣病問題」については、「逆境の中にこそ夢がある」との思いを胸に、正面から向き合い、それぞれ解決に向けた一定の道筋をつけることができました。また、公共関与最終処分場の建設などの困難な課題、熊本広域大水害や鳥インフルエンザの発生などの災害にも積極果敢に全力で対応してまいりました。その結果、周辺環境に影響を与えないクローズド型最終処分場「エコアくまもと」の完成、災害前よりも安全で住みやすい地域を目指す「創造的復興」、そして鳥インフルエンザの早期かつ徹底的な封じ込めを達成できました。

蒲島県政の最大にして唯一の目標は、「県民の総幸福量を最大化すること」です。そのため、私は「幸せを実感できるくまもと」の実現に向け、「活力を創る」「アジアとつながる」「安心を実現する」「百年の礎を築く」の4つの約束を県民の皆様にお示ししました。夢をかなえる喜びを県民の皆様とともにわかちあうために全力で駆け抜ける中で、政令指定都市の誕生、新たな国際定期航空路線の就航、九州を支える広域防災拠点構想の策定と進展、「すべての道は熊本に通じる」ための幹線道路網の着実な整備など、今、多くの「華」が咲き始めています。

そして、この8年間を通じて、私とともに県政を推し進めてきた県庁職員・組織は、失敗を恐れることなく果敢に挑戦する集団に生まれ変わりました。このことは、夢の実現に向けた更なる挑戦の大きな力になると考えています。

今、県政が直面する待ったなしの課題は、人口減少社会に立ち向かう「地方創生」、「TPP問題」への迅速かつ的確な対応です。そして、2019年に、ここ熊本で開催されるラグビーワールドカップ、女子ハンドボール世界選手権に万全の体制で臨み、皆様をお迎えすることにも最大限の努力が必要です。これらの課題を克服するためには、国、県、市町村、さらには、様々な職場で働く方や農林水産業に携わる方、企業を経営する方、地域で暮らす若者からお年寄りなど、全ての県民の皆様が一致団結して、「チーム熊本」として取り組まなければなりません。

今、「華」が咲き始めた、この県政のよき流れを断ち切ることなく、さらに力強いものとし、将来にわたって「持続可能な熊本」を実現するために、「チーム熊本」の先頭に立ち、全力を尽くして参ります。

現在熊本は様々な施策を行い、よき流れとなっており、知事の言葉にもあるように華が咲き始めております。例えば訪日観光客の伸び率は、くまモン効果もあり熊本が35.9%で日本一の伸び率となっております。このような熊本のよき流れを止めないためにもこれから蒲島知事と共に県政に取り組んでまいります。

橋口 海平



蒲島 郁夫
(蒲島郁夫ホームページより転載)

ラグビーワールドカップ2015 イングランド大会視察報告

視察期間
2015年
10月8日～13日



目的

ラグビーワールドカップ2019熊本開催に向けて今後の計画・準備・実施に役立てることを目的として、前回大会となるイングランド大会の視察・調査を実施しました。

ラグビーワールドカップ2019の概要



開催期間 2019年9月20日(金)～11月2日(土) 44日間

試合数 48試合 予選プール40試合 決勝トーナメント8試合

開催都市数 12都市 開幕戦 東京都(東京スタジアム) 決勝戦 神奈川県・横浜市(横浜国際総合競技場)

特徴 1.アジアで初のワールドカップ 2.ラグビー伝統国以外で初のワールドカップ
3.ラグビー7人制がオリンピック種目に採用されてから最初の大会

ラグビーワールドカップで求められる基準

1.選手が、世界最高のパフォーマンスを発揮できる環境

スタジアム、練習会場、トレーニング施設、医療体制、チームキャンプ地、会議室、ホテルルーム・食事等、リラクゼーション環境

2.観客が、世界最高のパフォーマンスを楽しめる環境

宿泊・輸送、救護、スタジアム内のレストラン・ラウンジ・バー、屋外の物販、アミューズメント、トイレ、洗面所、障害者対応、ホームとアウェイが一緒になって応援するスタジアム

3.ファンが、街中でもワールドカップを満喫できる環境

ファンゾーン、都市装飾、スポーツ・文化・芸術イベント、年齢・性別を問わない多種多様なボランティア

4.世界中へ、ワールドカップの迫力と感動を伝える環境

記者席、プレスセンター、メディアサービス、最先端の通信サービス施設

5.スポンサー企業によるワールドカップブランド力向上に協力する環境

ワールドカップはスポンサー企業を活用して、スポンサー企業はワールドカップを活用して、それぞれのブランド価値を高めるこれらのブランド力向上を目指した活動を支援

※イングランド大会ワールドワイドパートナー
エミレーツ航空、DHL(貨物輸送)、ランドローバー、ハイネケン、マスターカード、ソシエテ・ジェネラル(銀行)

視察を終えて～ 今回イングランド大会を実際に体感し、改めて熊本で試合が行われることの素晴らしさを感じました。2019年のワールドカップ熊本誘致は、私が県議会議員となる以前よりラグビー協会と協力して取り組んできた大きな活動の一つでした。世界のトッププレイヤーのプレーを間近で見ることができるといえることは、ラグビーに携わっている方だけではなく、多くの方々に夢や感動を与える貴重な機会です。

また、それぞれの地域の取り組みにより、多くの経済波及効果が生まれるということを知り、そのためには地域全体を巻き込み、地域の力を最大限に活かしていかなければならないと強く感じました。

試合を観戦するために国内外から大勢の方が熊本を訪れるため、それをおもてなしするたくさんの方々の力が求められます。来熊者を会場まで案内するボランティア、とにかく大きな声をあげて大会を盛り上げるボランティア、もちろん様々な海外の言語を話すボランティアも必要です。ファンゾーンでは催し物や飲食ブースを出してスタジアムの外でも楽しめる工夫や、会場周辺だけでなく街中においても盛り上げるための様々な取り組みを展開していかなければなりません。これからの活動によってラグビーワールドカップ熊本開催には多くの可能性があると思っています。2019年にはラグビーワールドカップだけではなく世界女子ハンドボール選手権も熊本で行われます。両大会が大成功するようこれからも頑張ります。

活動報告 Activity Report

台北・台南等 日程:10月18日～24日

日本青年台湾研修

日本青年台湾研修は平成22年より台湾政府が招待する形で始まり、平成27年のこの事業には、全国の若手の地方議員や国会議員秘書、政党の職員、また地方公務員の合計35名で団を結成し訪問しました。私は今回初めて、熊本からただ一人参加させていただきました。

台湾では民進党や国民党の幹部の方々との懇談、また地方議会(嘉義県議会)への表敬訪問や地方議員との交流、映画の「KANO 1931海の向こうの甲子園」の舞台である嘉義農林学校(現在国立嘉義大学)への表敬訪問などを通じて、さらなる日台交流を深めてきました。

熊本は台湾高雄市とMOU(国際交流協定)を締結し、航空定期便も始まり、これからも海外との地方単位での連携を深めていくことが重要だと考えます。



沖縄 日程:11月4日～6日

厚生常任委員会管外視察

沖縄では今後の地域医療の在り方について視察しました。これからの地域医療の現場では総合診療専門医が必要で、熊本県においても総合診療専門医の教育体制の整備が望まれています。研修医を熊本に定着させる工夫などが必要になると感じました。



シンガポール 日程:11月25日～28日

自由民主党熊本県議会議員 シンガポール研修

シンガポールではクリアシンガポール事務所(シンガポールをはじめとした東南アジア諸国と日本の地方自治体との間の国際交流や協力事業を推進)やクボタ精米工場、伊勢丹などを視察しました。伊勢丹では年に数回ジャパンフェアや九州フェアがあり、私たちが行った際にもジャパンフェアにて熊本の企業が3社出店しておりました。またクボタ精米工場では熊本の玄米を輸入販売しておりました。これからは熊本の商品を日本国内だけではなく海外にも売り出していくためにも、しっかりとサポートをしていきたいと考えます。

